人と社会を楽しく元気に

宝島社

2016年2月5日

35歳独身女子は、年収250万フリーター男子と同価値!?

「30代婚活女子」のゾッとする市場価値

30代婚活でこれはNG!

自分を過大評価 **相手を過小評価** **狙う男性層が違う**

女性ファッション雑誌実売部数トップシェアの株式会社宝島社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：蓮見清一）が発行する『InRed（インレッド）』3月号（2016年2月5日発売）で、特集企画「30代婚活女子のゾッとする現実」を掲載します。

「普通の相手でいい」「いつか結婚できるはず」と思いながら、婚活に苦戦する30代女子は少なくありません。その原因は、**自分と男性の婚活市場における「市場価値」**を勘違いしているからだと、早稲田大学で恋愛論を教える人気教授・森川友義氏は指摘します。「恋愛均衡説」によると「男女はそれぞれの市場で同程度の価値がある人と結びつく」というルールがあり、その計算ミスが失敗の原因になるのです。

一つ目の間違いは「自分の市場価値の過大評価」。仕事ができて美容への意識も高い、一見100点の女性でも、男性は結婚相手に癒しを求めているため、婚活市場では30点になってしまうという場合がよくあります。

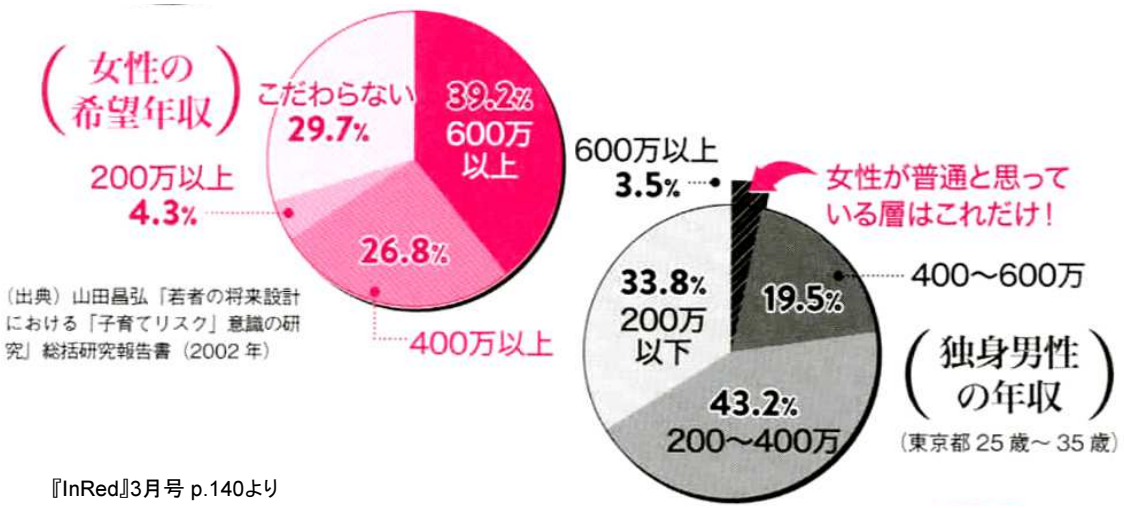
二つ目の間違いは「相手の市場価値の過小評価」。女性が男性に求める平均年収は「600万円以上（39.2%）」ですが、実際に600万円以上稼いでいる男性はわずか「3.5%」という調査結果があります。このように、30代女子が「普通」と思っている男性が、実は市場では平均のはるか上という場合が多いのです。（下図参照）

三つ目の間違いは「狙うべき男性層の間違い」。30代女子が「普通」と考える同世代の男性は、次々売れて市場から減っていく一方です。そのため、不特定多数との出会いの場より、きちんと出会いたい人に出会えるチャンスを狙い、その機会を逃さないようにしなければなりません。

誌面では、上記の三つの計算ミスを正し、戦略的に婚活を成功させるための方法を、恋愛・婚活のプロがアドバイス。また、冷静な分析で婚活を成功させた女性たちの体験談や、婚活市場で価値が暴落するといわれる「35歳」の乗り越え方なども紹介します。

宝島社は、企業理念「人と社会を楽しく元気に」のもと、今後もより多くの方に喜んでいただけるコンテンツを企画開発・提供してまいります。見本誌も用意できますのでお気軽にお問い合わせください。よろしくお願い申し上げます。

▼ 独身男性の年収と女性が結婚相手に求める希望年収



（出典）山田昌弘「若者の将来設計における「子育てリスク」意識の研究」総括研究報告書（2002 年）

『InRed』3月号 p.140より

＼表紙は竹内結子さん／
『InRed』
発売：毎月７日
コンセプト：
30代女子のインレッド

≪お問い合わせ≫　株式会社宝島社　広報課　担当：南裕子/宮部ゆかり/緒方未来/山崎あゆみ
東京都千代田区一番町25番地　TEL 03-3239-0967　FAX 03-3288-1305